

青少年の健全育成のための広報紙

志木市青少年育成市民会議だより

■□ 志木市青少年育成市民会議について □■

青少年育成市民会議は、青少年問題について広く市民の総意を結集し、次代を担う「青少年」の健全な育成を市民ぐるみで推進することを目的として活動しています。

〈令和6年度の活動報告〉

総会・研修会

○総会

日 時：令和6年5月17日（金）10時～10時40分
場 所：総合福祉センター ホール

○研修会

日 時：令和6年5月17日（金）
10時50分～11時50分
場 所：総合福祉センター ホール
参加者：35名
演 題：青少年の健全育成「青少年を取り巻く問題と諸対策」
講 師：埼玉県県民生活部青少年課 企画・非行防止担当
青少年を取り巻く問題が多様化する中、刑法犯で検挙・補導された少年の数は減少傾向にありましたが、令和5年には増加に転じました。



▲研修会の様子

また、児童虐待、不登校等への対応、いじめ問題、SNSに起因する犯罪被害・トラブルも引き続き課題となっています。

埼玉県では、これらに対応するため、啓発活動やフィルタリングの普及促進、ネットリテラシー教育の推進を行っています。

青少年の健全育成と非行防止には、家庭、学校、地域が一体となった取り組みが不可欠です。適切なインターネット利用教育と健全な成長環境の整備が求められています。



埼玉県マスコット
「コバトン」

青少年の薬物乱用が深刻化しています！
非行・薬物乱用 ダメ。ゼッタイ。



志木市広報大使
「カペル」

非行・薬物乱用防止キャンペーン

○夏のキャンペーン

日 時：令和6年7月20日（土）18時～19時

場 所：敷島神社祭典会場

参加者：53名（参加団体15団体、個人会員1名）

啓発物資：ポケットティッシュ3,500部

御輿と屋台が出店し、とても賑わいのある敷島神社祭典が行われました。

啓発物資を青少年などに配布し、犯罪に巻き込まれないように注意喚起を図りました。



▲夏のキャンペーン啓発物資配布の様子

○秋のキャンペーン

日 時：令和6年12月1日（日）

12時30分～13時30分

場 所：市民まつり会場

参加者：38名

啓発物資：ポケットティッシュ2,250部



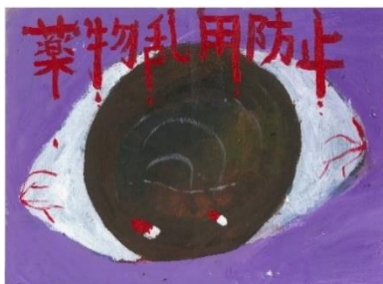
▲秋のキャンペーン啓発物資配布の様子

暖かい日に恵まれ、お昼時の賑わいの中、非行・薬物乱用防止を呼び掛けながら、様々な年齢層の来場者に、啓発物資を配布し、幅広い啓発活動を行いました。

○志木市非行・薬物乱用防止キャンペーンの啓発物資について



▲志木高等学校



▲志木第二中学校



▲宗岡中学校



▲宗岡第二中学校



▲志木中学校



【市ホームページ】

市内4中学校の生徒と、県立志木高等学校の生徒が作成したイラスト付き啓発物資のポケットティッシュを配布し、啓発活動を行いました。

他にもたくさんのイラストがあります！志木市ホームページをぜひご覧ください！

青少年非行・薬物乱用防止講演会

日 時：令和7年2月6日（木）午前10時～午前11時30分

場 所：総合福祉センター ホール

参加者：47名

講 師：埼玉県警察本部 組織犯罪対策第一課 暴力団排除係 職員

演 題：「薬物乱用の根絶を目指して」

近年、薬物乱用による検挙数が増加傾向にあり、全国で年間12,000件から14,000件、埼玉県内においても400件から500件に及んでいる。特に懸念されるのは、10代の大麻使用による検挙数が令和4年度から令和5年度にかけて急増していることである。大麻は「ゲートウェイドラッグ」と呼ばれ、比較的安価で入手しやすいため、初犯や若年層が手を出しやすい傾向があります。



▲志木市青少年非行・薬物乱用防止講演会の様子

薬物乱用者は特定の層に限定されず、一見普通に見える人々や高齢者も含め、年齢や性別を問わず増加している。

この背景には、インターネットやSNSの普及があり、匿名性を利用して暴力団関係者との取引が容易になっていることが挙げられます。また、市販薬の不適切な使用など、薬物乱用の形態も多様化しています。

「友達に1度だけと誘われて使用してしまい、やめられなくなった」というケースも少なくない。薬物の誘いを受けた際は、仲間外れを恐れるのではなく、毅然とした態度で断ることが重要だ。具体的には、はっきりと拒否の意思を示し、話題を変えたり、その場から離れたりするなど、適切な対処法を身につけることが大切です。

薬物乱用の危険性や正しい知識を広めるため、学校や地域での啓発活動が重要であり、社会や地域全体で取り組むべき課題であります。



大切な人
守りたいから

暴力団等、反社会的勢力からの
不当要求は断固拒否し、
警察や暴力追放センターに相談しましょう

暴力団関係相談 **048-834-2140**
【ヤミヨツイホー】

薬物問題相談 **048-822-4970**
【ヤメテニコニコヨクナレ】

暴力団離脱相談 **048-822-3148**
【ヤメテニコニコサイシュッパツ】

相談受付時間：午前8時30分～午後5時15分 月曜日～金曜日（土・日・休日は除きます）

暴追センターマスコット
「追放くん」

秘密厳守で安心
お電話ください

▲薬物乱用防止に関する相談窓口はこちら「（公財）埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター」

～夢と希望に満ちた未来を～わが市の青少年育成

「Boys be ambitious」

志木市教育委員会 教育長 柚木 博

青少年の健全育成は、いつの時代も誰もが切に願っていることです。本市においても、様々な団体の皆様や多くの市民の方々の協力をいただきながら、啓発を中心としてキャンペーン活動や講演会を実施しております。

こうした事業はターゲットを青少年のみに絞るのではなく、青少年の周囲にいる人々をも対象にして実施していますが、この地域・コミュニティ全体を巻き込んでいくということがとても大切だと考えています。

タイトルのお馴染みの言葉は、札幌農学校で教鞭をとられていたクラーク博士のものです。この後に続くフレーズがあるそうです。それは、「like this old man.」です。直訳すれば、「少年よ大志を抱け、この老人のように。」という意になります。

因みにこの時、クラーク博士は50歳でしたが、ここにより良い社会を築いていくための鍵があるように思います。

子どもたちの姿は、大人社会の鏡と言えるかもしれません。子どもたちに「夢を持ちなさい」、「目標に向かって努力しなさい」と言う前に、大人自身が未来への大きな希望をもって、日々楽しく生活することが大切なのではないでしょうか。

青少年よりも誰よりも、まずは大人たちこそが「志」や「夢」を持ち続けて生きていくことが求められるということです。

志を高く、夢に向かって誠実に努力を続ける大人たちの姿を見せることが、青少年の健全な成長につながっていく、遠回りかもしれませんが最短の近道のように思います。

そうした市民の皆様を応援するため、教育委員会では、いつでも、どこでも、誰でも、関心のあることを学べ、また、好きなスポーツを楽しめるような環境を創出していくに取り組んでいます。

株式会社アド・マルシェ発行「スワンニュース」より引用

☆地域で青少年を見守り育てましょう！

志木市青少年育成市民会議は、多くの加盟団体の協力を得て、
非行防止・薬物乱用防止等の青少年の健全育成に力を注いでいます。
加盟を希望される方は以下の問い合わせまでご連絡ください。
加盟団体または個人でも！ぜひ、一緒に活動しませんか？



志木市青少年育成市民会議加盟団体等一覧

個人会員	日本ボーイスカウト志木第一団	志木ロータリークラブ	志木市老人クラブ連合会	志木市連合婦人会	志木市民生委員児童委員協議会	志木市文化スポーツ振興公社	志木市立学校PTA連合会	志木市町内会連合会	志木市体育協会	志木市青少年育成推進委員会	志木市スポーツ少年団	志木市社会福祉協議会	志木市子ども会育成連絡協議会	志木市校長会	志木市交通指導員会	県立志木高等学校	朝霞地区保護司会志木支部	朝霞地区交通安全協会志木支部	朝霞地区更生保護女性会志木支部	朝霞青年会議所志木支部	朝霞警察署	志木市
------	----------------	------------	-------------	----------	----------------	---------------	--------------	-----------	---------	---------------	------------	------------	----------------	--------	-----------	----------	--------------	----------------	-----------------	-------------	-------	-----

埼玉県青少年に関する強調月間

7月「青少年の被害・非行防止全国強調月間」

11月「子ども・若者育成支援強調月間」

問い合わせ

編集・発行／志木市青少年育成市民会議

(事務局：志木市教育委員会生涯学習課)

所在地 〒353-8501 志木市中宗岡1-1-1

電話 048-473-1183 FAX 048-474-4462

Email syogai@city.shiki.lg.jp